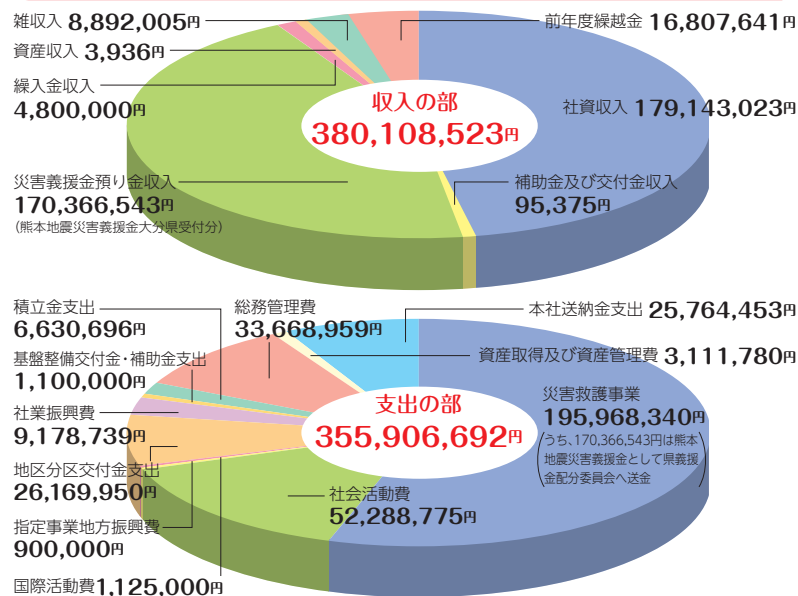


平成28年度事業報告及び決算報告が承認されました。

6月9日、第1回日本赤十字社大分県支部評議員会が、二日市副支部長と評議員の出席のもと、大分市のオアシスタワーホテルで開催されました。

大分県の赤十字施設（支部、赤十字病院、血液センター）の平成28年度事業報告及び収支決算報告について、承認されました。

日本赤十字社大分県支部一般会計決算



避難所で役立つ豆知識

～ホットタオルの作り方～

避難所生活において身体を清潔に保つことは容易ではありません。そこで、コップ1杯のお湯を使ってできるホットタオルの作り方を紹介します。

●準備物・タオル2枚・ビニール袋1枚・コップ1杯のお湯(100ml～120ml程度)

①1枚のタオルを適当な大きさにたたみ、ビニール袋に入れ、お湯をタオルにまんべんなくかける。



②もう1枚のタオルで1を包み、袋の中のタオルが全体に湿るよう軽く押さえてできあがり！



やけどに注意しながら、できたホットタオルでからだを拭き、乾いたタオルで湿り気を拭きとりましょう。

高額寄付者(社)のご紹介 (平成29年2月～7月末までの受付分)

日赤大分県支部に多額の事業資金をお寄せいただいた方のご意向を確認して掲載しています。(敬称略・順不同)

▶大分市 安藤 伸 三浦 マサコ 有田 耕治 堤 英子 伊東 英郎 姫野 千里 江藤酸素(株) ▶別府市 浦松 敬子 ▶中津市 関マルシン漁具
▶日田市 本川 恭子 ▶佐伯市 古川 司郎 三浦 政信 三浦 恵子 三浦 唯秀 (株)三浦造船所 三浦造船協力事業協同組合 大電工業(株) 佐伯ポートサービス(株)
▶豊後大野市 中村 汎子 後藤 文子 ▶豊後高田市 後藤 則孝 榎本 久光 宗 直長 永松 博文 ▶玖珠町 秋好 美代子 ▶大阪府 小牧 俊裕

Facebook 赤十字3施設の情報をリアルタイムで発信中！「赤十字大分 Facebook」で検索して、いいね！をお願いします。

日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society

大分赤十字病院

〒870-0033 大分市千代町2丁目2-37
TEL (097) 532-6181・FAX (097) 533-1207
http://www.oitasekijyuji.jp/

大分県赤十字血液センター

〒870-0889 大分市大字荏隈717-5
TEL (097) 547-1151・FAX (097) 547-1141
http://www.bc9.org

アンケートにご協力をお願いします

今後の「日赤おおいた」の紙面づくりの参考とするために、アンケートへのご協力をお願いします。

以下の①～④をご記入のうえ、平成29年11月10日(金)必着で、郵便、FAXにてご回答ください。ご協力いただいた方から抽選で10人の方に、「トートバッグとハンドタオルのセット」をプレゼントします。皆様のご意見をお待ちしています。



- ①お名前・郵便番号・ご住所・年齢
- ②本紙を読まれた場所(地区名など)
- ③本紙へのご意見・ご感想
- ④今後掲載してほしい内容

●回答先●

郵 送 〒870-0033
大分市千代町2丁目3番31号
日本赤十字社大分県支部 総務課
「日赤おおいた」35号 アンケート係
FAX (097) 533-6795
※記念品当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。

法人社資協力企業



平成28年度は
1,246法人にご支援をいただきました。
誠にありがとうございました。

平成29年度
(7月末まで) **972**法人

今年度も日本赤十字社大分県支部は県内各地の法人様から多くの活動資金のご協力を賜わり、厚く御礼申し上げます。今後も赤十字事業にご理解、ご協力をお願い申し上げます。

非常持ち出し品を考えよう！(国東市立竹田津小学校)▶

Topics

「平成29年7月5日からの大雨災害」における活動報告

平成28年度 数字で見る赤十字事業参加者数

「クロストートとハンドタオル」が当たる アンケート実施中!!

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

日本赤十字社 大分県支部
Japanese Red Cross Society

平成29年7月5日からの大雨災害における日赤大分県支部の活動報告

7月5日昼から降り続いた記録的豪雨は、日田市や中津市で甚大な被害をもたらしました。日赤大分県支部では、現場の情報収集に努め、県や市、他医療機関と連携し、様々な要請に応じました。

- 7月5日** 20:15 情報収集のため、県災害対策本部へ職員1名を派遣
- 7月7日** 10:45 **医療アセスメント(ニーズ調査)の要請**
 13:30 救護班第1班(医師1名、看護師1名、主事2名)西部保健所へ出発
 15:08 第1班 西部保健所に到着→他医療機関チームと合流
 15:50 福祉保健センター(ウェルピア)にて保健師による状況説明を受け、他医療チームと役割分担完了夜明公民館、大明小中学校にて避難者に聞き取り調査開始
- 13:50 **日田市より物資(緊急セット600個)の要請**
 17:07 日田市役所へ向け物資を乗せたトラックが出発
 18:03 第1班 調査終了→医療ニーズなしとの判断
 18:57 日田市役所にて物資の積み下ろし完了
 21:05 第1班 当支部へ帰還
- 7月8日** 7:30 救護班第2班(医師1名、看護師2名、主事2名)西部保健所へ出発
 8:50 第2班 西部保健所に到着→他医療機関チームと分担し、医療ニーズ把握のための運営本部の立ち上げ準備開始
 14:20 夜明公民館、大明小中学校、古屋敷公民館にてアセスメント開始
 17:30 調査終了→医療ニーズなしとの判断
 19:25 第2班 当支部へ帰還
- 7月9日** 16:20 **西部保健所より孤立状態にある小野地区の住民への医療アセスメントの要請**
- 7月11日** **「平成29年7月5日からの大雨災害義援金」(大分県内被災者向け)受付開始**
 7:50 救護班第3班(医師1名、看護師2名、薬剤師1名、主事2名)西部保健所へ向け出発
 10:40 第3班 自衛隊ヘリに搭乗し、小野地区へ向かう
 11:20 自治会長からの依頼により源栄町にて巡回診療を開始
 12:30 小鹿田焼陶芸館にて健康相談開始
 14:20 自治会長からの依頼により殿町、鈴連町にて巡回診療を開始
 16:30 小野地区老人憩の家にて健康相談を開始
 20:10 1日目の活動終了
- 7月12日** 8:00 前日に引き続き、老人憩の家にて健康相談開始
 9:00 源栄町小鹿田焼陶芸館と二手に分かれる
 11:00 源栄町小鹿田焼陶芸館での健康相談終了
 14:30 老人憩の家にて健康相談終了
 15:00 自衛隊ヘリにて日田市街へ帰還
 18:39 **以後の救護班派遣終了の判断**
 20:15 第3班 支部へ帰還
- ※同日、小野地区の孤立解消が発表されました。



第1班出発時の様子



緊急セット600個の搬送準備



大明小中学校での活動の様子



日田市陸上競技場にてヘリに搭乗する班員



医師を前に安堵した表情の住民



小野地区老人憩の家での様子



道中の流木が移動を阻んだ



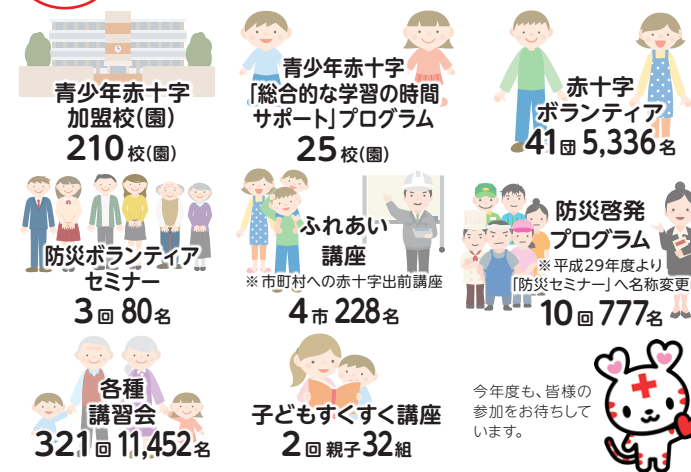
班員(救護班第3班)のはなし

孤立地域ということで、当初は住民の方の健康状態が心配でしたが、自治会の皆さんがお互いに声をかけ、状況の把握をしていたこともあり、深刻な症状の方はいらっしゃいませんでした。「赤十字の救護班です」と伝えると安心した表情を見せる方も多く、その笑顔にかえて我々が元気づけられました。

日赤大分県支部の事業は、県民の皆様からお寄せいただく 社資(活動資金)によって支えられています

数字で
みる

平成28年度日赤大分県支部での 赤十字事業参加者



2017
2
TUE

県内初!赤十字災害図上訓練(DIG)を 佐伯市にて開催

DIGとは、Disaster(災害) Imagination(想像力) Game(ゲーム)といい、住んでいる地域の防災マップをゲーム感覚で作成するプログラムのことをいいます。参加者30名がグループに分かれ災害時に役立つ「場所」「こと」「もの」について地図上に印を付け、地域の情報を共有しました。参加者からは、「このような防災研修をもう少し多くの人たちに参加する機会を作ってほしい。」「各地域でこのような訓練をやっていくと良いと思った。」などの意見が寄せられました。



自身の地域について改めて考えるきっかけとなった

2017
6
WED

非常災害用資機材を3市町に贈呈

日赤大分県支部では、地域での赤十字事業を普及するために、平成17年度より、県内全市町村に非常炊き出し釜や災害時救援物資備蓄用倉庫などを贈呈してきました。今年度は、日出町へ非常炊き出し釜を、中津市と豊後大野市に災害救援車両の助成金を贈呈しました。



各市町の赤十字窓口担当の方に目録を贈呈しました

EVENT案内

2017
9
MON
18
World First Aid Day
in 大分

大分銀行ドームにて開催される「大分リレーマラソン2017」の会場にAEDを用いた一次救命処置の体験ができるブースを設置します!参加は無料です。時間は、10:00~14:00

2017
10
SUN
15
はたらくくるま大集合!

大分城島高原パーク内にて開催されるこのイベントに赤十字のある乗り物が登場します!実際に乗って写真を撮ってみませんか?時間は、9:00~17:00

大分県赤十字血液センターからの お知らせ

献血ルーム『わったん』は9月で7周年を迎えます。昨年は2万人を超える献血者の皆様にご協力をいただき、心から感謝申し上げます。そこで、日頃のお礼の気持ちを込めて「感謝祭」と銘打ち、9月中に献血にご協力頂いた方を対象に「けんけつちゃんのぬいぐるみ」をはじめとした、他では手に入らない限定献血グッズ等が当たる福引を行います。いつもご協力いただいている方、そろそろ行こうかなと思っていた方、または献血が初めての方...スタッフ一同お待ちしております。



大分赤十字病院からのお知らせ

2016年8月に一般社団法人日本損害保険協会の交通災害等救急医療機器整備事業の補助金により、大分赤十字病院の放射線科へ「X線撮影装置」を2台設置しました。この機器を導入したことにより、交通事故患者の打撲や骨折、内臓損傷等の初期スクリーニングなどこれまで以上に迅速かつ、上質な画像を駆使した救急医療が実施出来るようになり、機器導入以来2017年6月までに24,650件(内、救急2,813件)使用しています。補助金をいただいた日本損害保険協会に感謝申し上げるとともに、今後も患者の皆さんにより良い医療を提供出来るよう努力してまいります。